

プレアデス神話

冬の夜空で、ひときわ目立つ星座はオリオン座。オリオンが狙うのはおうし座だけではありません。
おうしの肩のあたりに輝く美しい星々の集まりが、プレアデス星団。
その7人姉妹とオリオンのお話です。

(4分40秒)



1. 昔、プレアデスというとても仲の良い7人の姉妹がいました。

プレアデスは、巨人アトラスと妖精プレイオーネとの間に生まれた7人姉妹で、月の女神アルテミスに仕えていました。



4. しかし、あきらめきれないオリオンは、姉妹たちを森の中じゅう追いかけてまわります。

姉妹たちはいっしょうけんめい森の中を逃げまわります。



2. ある日、姉妹たちがボーイオティヤの森の中で遊んでいたときのことです。

姉妹たちが楽しく遊んでいたところに、一人の狩人が通りかかりました。



5. オリオン
「待て——」

プレアデス
「キャ————」



森で狩りをしていた、オリオンです。

かわいらしい7人姉妹をオリオンはひと目で気に入りました。



しかし、どんなにいっしょうけんめい逃げても、狩りの得意なオリオンにはかないません。



3. オリオンと一緒に遊ぼうと彼女たちを誘いますが、プレアデス姉妹はその誘いを断ります。乱暴もののオリオンを好きではなかったのです。強引に誘うオリオンを怖がって、姉妹たちは逃げ出してしまいました。



6. どうとう追いつかれそうになった、そのときです。

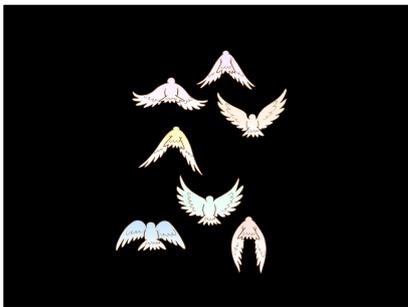


7.
シャキーン・キラーン

プレアデスは突然、真っ白な7羽の鳩に姿を変えて、大空に飛びたちました。

一部始終を見ていた女神アルテミスが、プレアデスをかわいそうに思い、鳩に変えて逃がしてやったのです。

8.
鳩になったプレアデス姉妹は、空高く、飛んでいき・・・



9.
そしてそのまま、星になってしまいました。



10.
ところが意外としつこいオリオン。プレアデスが星になっても、まだまだあきらめません。それならば、と、自分も星になって、今でも空の上でプレアデス姉妹を追いかけているのです。

11.
このプレアデスの姉妹が星になった姿といわれている、プレアデス星団。普通の視力の人なら、肉眼で6個くらいの星をみることができます。



プレアデス星団

7人姉妹の姿ですから、7個の星が見えても良さそうですが、7個目の星は特に目のいい人でないと、ちょっと見つけにくいかもしれません。

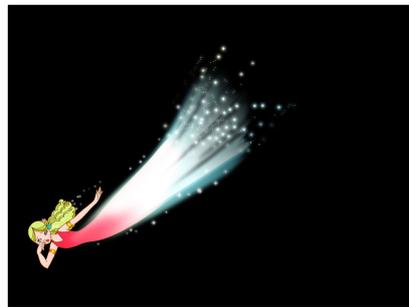
なぜ、7個目の星が見えにくいのでしょうか？
そのわけは、こんなふうに伝えられています。



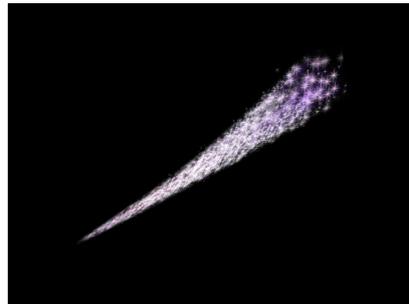
12.
七人姉妹のうち一人、エレクトラには、ダルダノスという息子がいました。



ダルダノスは大人になって、トロヤという都市を築きますが、やがて戦争で滅ぼされてしまいます。



13.
エレクトラはこの様子を見て、悲しみのあまり彗星となって、どこかへ姿を隠してしまいました。



そのせいで、プレアデスの7個目の星は、見えにくくなってしまったのです。



14.
また、残された6人の姉妹も、姿を消したエレクトラのことを思うと、いつまでも涙が止まりません。



それで、プレアデスのまわりは今もぼうっとかすんで見えているのだ、ということです。

語り：寺瀬今日子 脚本：吉田麻子 イラスト：塚田洋子 編集：福留政彦